

## 2019年度事業計画(2019年4月1日～2020年3月31日)

アジア各国の生命保険関係者を招いて開催する東京セミナーは、モンゴルやウズベキスタンなどの新興国からの参加者も増え、定員を大幅に超える応募を毎回得ている。また、海外現地セミナーも年2ないし3回のペースで継続しており、毎回多くの関係者に参加頂いている。

国内においても、保険フォーラムや寄附講座を通して財団の名は着実に普及してきているので、今後もこれらの活動を継続して行きたい。

### (1) 研修事業

#### ① アジア諸国・地域での海外現地セミナー

海外現地セミナーについては、3か国での開催を計画している。

対象候補国は、モンゴル、台湾の2か国と、フィリピンかベトナムのいずれかでの開催を基本とする。

#### ② 国内セミナー

東京セミナーは、春秋2回開催する。

セミナー名	開催時期	募集人数
OLIS 2019 Spring	2019年5月23日～28日	40名
OLIS 2019 Autumn	2019年10月24日～29日	40名

春セミナーのテーマは「生命保険会社のリスク管理(案)」で、総合的リスク管理(ERM)および実務的な個別リスク管理について、各リスク分野の専門家に講義してもらう。

#### ③ セミナー参加者への渡航費支援

セミナーに社員・職員の派遣を希望しながら渡航費用の負担が困難な機関のために、費用を支援する「セミナー等参加渡航費の支援制度」は、途上国からの参加希望に応えるよう継続して実施する。

### (2) 教育振興事業

#### ① 生命保険寄附講座

慶應義塾大学の寄附講座「OLIS 生命保険寄附講座」は、今年3月で9年目(3年講座期間の第3ターム3年目)を終了するので、4月より新たな3か年の講座の1年目を開講する。

また、2014年度から開設している中央大学理工学部の寄附講座も4月より6年目(3年講座期間の第2ターム3年目)を開講する。

#### ② 保険フォーラム

各大学に認知され開催要望が増えていることから、2019 年度においても京都大学(初)、東京工業大学(初)、法政大学(初)、琉球大学(2 回目)の 4 大学で開催する計画である。

### (3) 奨学制度

#### ① タイ生命保険協会奨学制度

前年度と同規模で「タイ生命保険協会奨学制度」に継続して協賛し、奨学金を給費する。

### (4) 広報・出版事業

#### ① 論文・書籍・情報の翻訳、紹介

毎年、アジア諸国・地域の生命保険事業の発展に有益と思われる論文・書籍・データを翻訳して提供している。2019 年度は、現在対象書籍を選定中である。

#### ② 財団紹介パンフレットの更新

財団の事業活動や実績などを広く知ってもらうためのパンフレット「INFINITY」(日本語版、英語版)について、直近の事業活動状況を反映させた更新版を作成する。

#### ③ ホームページの活用

アジア諸国・地域と相互に活発な情報交換ができるホームページ構築に 2019 年度も引き続き努める。

#### ④ 「日本の保険マーケティング事情」の発信

日本の生命保険事情をアジア各国に知ってもらい、自国の生命保険事業振興の参考としてもらうための「日本の生保事情」の財団ホームページ掲載を終了し、代わりに、日本の保険マーケティング関連の内容を財団ホームページに掲載することを検討している。現在執筆候補者を選定中である。

### (5) 運営委員会の継続設置

財団の事業活動について検討をする目的で、財団理事長の諮問委員会として運営委員会を継続設置する。

### (6) 管理部門

事務用デスクトップパソコンが老朽化したため、入れ替えを行う。国内セミナーでも活用できるよう、新パソコンはノートパソコンを購入する計画である。